



ABGIC ニュース (第16号)

平成27年7月23日

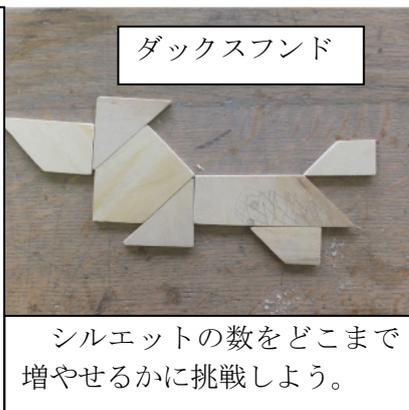
淡路少年少女発明クラブ (<http://www.abgic.com>)

編集委員 西川 玉士 森岡 達

☆基礎工作②「ラッキーパズル (知恵の板) を作ろう」西川指導員主幹5月30日 (土)



7つの板を組み合わせて色々な形を作れるパズルを作りました。厚さ5ミリぐらいのシナベニヤ板をのこぎりで切断して作りました。簡単そうですが、板に正確に線を引いたり、まっすぐに切ることに苦労して完成させました。



☆基礎工作③回路図の学習とLED点灯回路の製作 森岡指導員主幹6月13日 (土)



電子部品の端子をさしこむだけで回路が組める基盤や点滅するLED (発光ダイオード) など、目新しい部品を使ってLED点灯回路を作りました。LEDの性質や抵抗の働き、電池とのつなぎ方などを学びながら完成させました。

☆アイデア工作案の決定と発表

廣瀬指導員主幹 6月27日 (土)



5月9日のアイデア工作案作りの勉強会から7週間が過ぎた6月27日、これまで指導員や保護者の協力のもと練ってきた自分のアイデアを発表し合いました。当日、クラブ員21名の内18名が出席し、全員が図面や試作品を元に発表することができました。なかには完成に近いようなアイデア作品も見受けられました。これからは残された8回のアイデア工作の活動と家庭での活動で作品を完成させ、兵庫県学生児童発明くふう展に出品していきます。



「工程表作成」

廣瀬指導員主幹 7月4日(土)

アイデア工作の案も決定し、いよいよアイデア工作を作る段階に入りました。①製作用図面の完成、②工程表・材料表の完成と材料の手配、③試作品の完成、④試作品の改善検討、⑤⑥⑦県くふう展出品への取組⑧出品作品の完成、出品表や説明資料の完成と進めていかなければなりません。アイデア工作の時間は16時間程度となります。課題工作グループの8名は、家庭での製作が中心となりますので家族の皆さんの支援が必要となります。どうかよろしくお願い致します。



アイデア工作グループの13名は、担当の指導員とともに頑張ることとなります。工作案を決定したとは言えるもののまだまだ不明確な部分も多いのが現状です。試行錯誤(失敗)を繰り返していい作品に近づけます。根気強く頑張りましょう。保護者の皆さんも、どうかご協力よろしくお願いします。

☆課題工作①—1木と紙を使った工作「空飛ぶおもちゃ」 春木指導員主幹 7月11日(土)



牛乳パックとストローを利用して竹とんぼを作りました。羽の形や折り曲げ方を工夫しながら完成しました。よく飛びました。2回目も楽しみです。

☆島内体験学習の実施について (梅原指導員主幹) 8月19日(水)

1. 実施日・集合場所 8月19日(水) 淡路市役所
2. 日程
午前9時30分集合・35分出発→10時訪問先到着
→11時30分出発→11時55分帰着・解散
3. 訪問先 (株)浦共同造船所(創業 大正10年5月)
小型船舶の建造、修理(500トンクラス)
社長 仲野 嘉宏
4. その他
見学後、クラブ員は必ず質問をしてもらいますから質問内容を考えておきましょう。(1人1質問)



☆協賛企業のご紹介

ミツ精機 株式会社	ムネ製薬 株式会社	株式会社 三和製作所	山本光学 株式会社
--------------	--------------	---------------	--------------